

# 日本の美しい自然を次世代に引き継ぐために

日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐために、さまざまな団体と協力して保護・保全活動を推進するとともに、自然学校を運営しています。

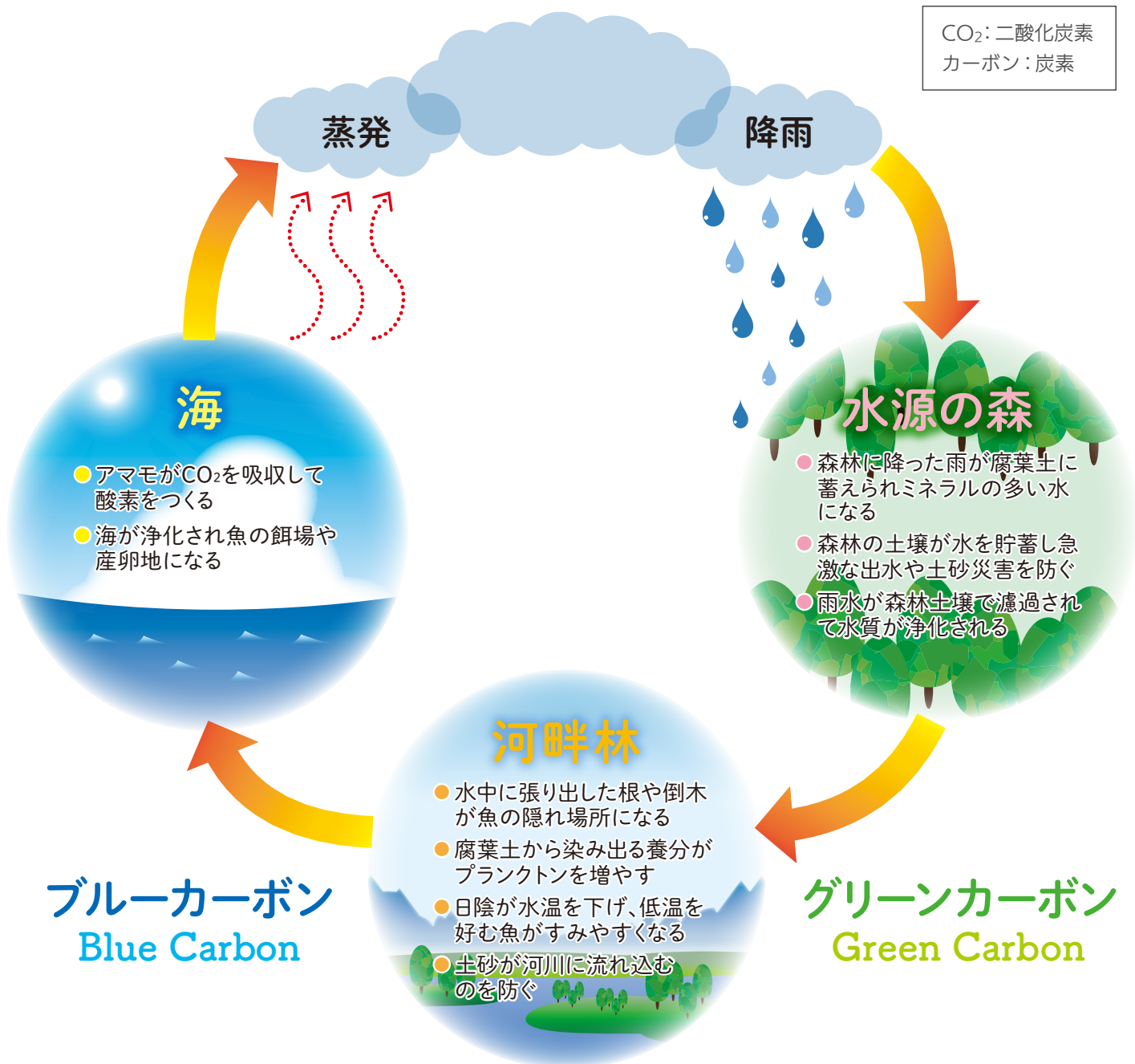


セブン-イレブン記念財団は、このプロジェクトに賛同しています

## 森林の保護・保全活動「山の森づくり。海の森づくり。」

「山の森」と「海の森」の二つの視点から「CO<sub>2</sub>削減」と「豊かな自然環境の再生」を進めています。

CO<sub>2</sub>: 二酸化炭素  
カーボン: 炭素



## 🎁 生物多様性

セブン-イレブン記念財団の事業である自然環境保護・保全事業では、セブンの森活動や自然学校の運営を通じて、森林や生物多様性の保護・保全活動を行っています。

「生物多様性」とは、動物や植物、昆虫など、さまざまな生きものたちの豊かな個性とつながりのことをいい、現在、地球には3,000万種ともいわれる多様な生きものが存在し、人類の生存を支え、私たちに様々な恵みをもたらしてくれています。

ですが、開発や乱獲、里地里山の手入れ不足や管理放棄、「外来種」などの持ち込み、地球温暖化による種の絶滅の危機など、人間活動による影響が主な要因で、たくさんの生きものたちが危機に瀕しています。

私たち人類も生きものであり、他の生きものたちと繋がり、支え合って生きています。

私たちは生物多様性を守るために、今、何ができるのかを考え、行動に移していくことが大切です。



引用：環境省生物多様性ウェブサイト

## 🎁 埼玉セブンの森

### 「埼玉セブンの森」環境保全活動協定締結

2022年11月9日(水)、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会と国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所、川島町、セブン-イレブン記念財団の四者は、「埼玉セブンの森」事業に係る連携に関する協定を締結しました。

「埼玉セブンの森」の活動場所となる太郎右衛門自然再生地は、桶川市・川島町・上尾市に位置する広大な河川敷です。太郎右衛門自然再生地は、かつて湿地が広がっていましたが、樹林地の高木・壮齢化



第1回埼玉セブンの森活動(2022年12月3日)

により、河畔の特徴的な姿が失われているなどの課題があり、「荒川太郎右衛門地区自然再生事業」は、本来の自然環境を取り戻そうと取り組まれている事業です。

「埼玉セブンの森」では、以下を活動の目的・テーマとし、太郎右衛門自然再生地にて地域の皆様と一緒に活動を進めてまいります。

- ◆ 荒川の河川改修により残された旧流路周辺の河畔林や湿地を保全・再生し、生物多様性の向上を図る
- ◆ 「エコロジカル・ネットワーク」(野生動植物の生息空間)づくり
- ◆ 流域住民が自然と触れ合う機会を提供する



埼玉セブンの森 協定締結式



## 森の育木活動で健全な森づくり

日本は木を植えて木を育て、木を切って使い、また植えるという木を循環させる文化を持っています。木が育つには何十年もかかり、その間の植樹や下刈り、間伐などの育木を人が計画的に行って森を守ってきました。



「館山セブンの海の森」タブノキ植樹

セブン-イレブン記念財団の「森づくり」の基本的な考え方は、植樹から下刈り・間伐までの森の育木活



「福井セブンの森」支柱設置

動を行い、健全な森をつくることです。2006年にスタートさせて以来、全国で森林・海・湖・湿原・草原・河畔林・竹林とさまざまな「セブンの森」づくりに取り組んでいます。

## 「宮城セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱

2012年より震災復興支援として、豊かな森をつくるために宮城県大崎市鳴子温泉玉ノ木にてNPO法人しんりんと協定を締結し、「宮城セブンの森」づくりを行っています。



「宮城セブンの森」ミズキ補植

2014年から間伐材を利用した木製募金箱を店頭で設置し、木材を循環させていくことで森林保全と地球温暖化防止につなげています。



募金箱は宮城県大崎市の障害者就労支援事業所で組み立てています



## アマモを増やして海を再生

「海の森づくり」として、水質浄化やCO<sub>2</sub>を減らすアマモを増やして豊かな海に再生する活動に取り組んでいます。「ブルーカーボン」は地球上の生物が固定化する全炭素量の55%を占めており、温室効果ガス削減の切り札ともいわれています。

アマモを増やして豊かな海に再生する活動は、地域の方々と共にセブン-イレブン加盟店や本部社員からボランティアを募り実施しています。



アマモの種

現在、アマモ場の保全活動の先駆けとなった「東京湾UMIプロジェクト」をはじめ、大阪湾



「阪南セブンの海の森」海岸清掃活動

で阪南セブンの海の森、松島湾で塩竈セブンの海の森、館山湾で館山セブンの海の森、陸奥湾で青森セブンの海の森の5カ所で活動しています。





# 日本の美しい自然遺産を次世代へ

## 霧多布湿原保全活動

豊かな生態系を抱く霧多布湿原を次世代に引き継ぐために、「小さな力が集まって、大切な自然遺産を残していく」ナショナルトラスト運動を推進しています。

北海道浜中町の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、2002年より霧多布湿原の民有地などを取得し保全しています。

2018年より「霧多布セブンの森」も始動しました。



霧多布湿原は、ラムサール条約登録湿地  
(撮影：ノーザンフォト 北村康春)

取得面積 **482.9ha** (2023年2月末日現在)

## 琵琶湖保全活動

琵琶湖を取り巻く環境を健全な姿で引き継ぐため、2019年に滋賀県、守山市、淡海を守る釣り人の会、セブン-イレブン記念財団の四者で連携協定を

締結し、「滋賀セブンの森」活動として湖岸清掃や小さな自然再生を実施しています。

年2回の活動には、行政、企業、学生、市民と産官学民が一体となり、湖岸に漂着したゴミの収集、分別作業を力を合わせて行っています。



「滋賀セブンの森」ごみの分別



「滋賀セブンの森」湖岸清掃活動

## 富士山保全活動

セブン-イレブン記念財団は1994年より富士山の環境美化保全活動への取り組みを開始しました。1998年より、セブン-イレブン加盟店と(株)セブン-イレブン・ジャパン社員などを対象に「セブン-イレブン記念財団富士山保全活動」を主催し、認定NPO法人富士山クラブの協力を得て山梨県側と静岡県側を交互に清掃や外来種駆除などを行っています。



富士山清掃活動



富士山清掃活動集合写真



## 「セブンの森」づくり一覧 (全29カ所、うち終了11カ所) 2023年2月末日現在

「セブンの森」は下刈りや植樹を行い、10年後・20年後に地域の自然環境やニーズに合わせた森にする、というような地域に親しまれ、愛され、次世代に繋げる地域一体型の森づくりを目指しています。2018年度からは国有林・公有林に私有林も加え、地域住民やNPO、行政と連携し、気軽に参加して自然体験や地域交流ができる森づくりを行っています。

都道府県	名称	場所	開始年	面積	活動分野
北海道	支笏湖セブンの森	千歳市	2006年～2021年終了	16.3ha	森林
北海道	千歳セブンの森	千歳市幌加	2009年～2014年終了	1.2ha	森林
北海道	えりも岬セブンの森	幌泉郡えりも町	2013年～2023年更新	4.7ha	森林
北海道	霧多布セブンの森	厚岸郡浜中町	2018年～	482.9ha	湿原
青森県	青森セブンの海の森	青森市	2021年～	—	海
宮城県	宮城セブンの森	大崎市鳴子温泉玉ノ木	2013年～	300.0ha	森林
宮城県	仙台湾セブンの森	名取市下増田台	2014年～2019年終了	1.0ha	森林
宮城県	東松島セブンの森	東松島市浜市	2016年～2021年終了	1.0ha	森林
宮城県	塩竈セブンの海の森	塩竈市	2020年～	—	海
福島県	相馬セブンの森	相馬市磯部大洲	2016年～2021年終了	0.3ha	森林
茨城県	茨城セブンの森	水戸市見川町桜川緑地	2018年～	6.0ha	河畔林
栃木県	栃木セブンの森	矢板市長井	2013年～2018年終了	2.0ha	森林
埼玉県	埼玉セブンの森	太郎右衛門自然再生地	2022年～	—	河畔林
千葉県	千葉セブンの森	富津市	2012年～2016年終了	2.5ha	森林
千葉県	館山セブンの海の森	館山市沖ノ島	2021年～	—	海
東京都	高尾セブンの森	八王子市川町	2014年～	26.5ha	森林
福井県	福井セブンの森	福井市小羽町「清水きららの森～おばやま自然公園～」	2017年～	2.6ha	森林
山梨県	山梨セブンの森	笛吹市石和町	2020年～	20.6ha	森林
長野県	長野セブンの森 I	埴科郡坂城町	2012年～2016年終了	250.0ha	森林
長野県	長野セブンの森 II	上水内郡信濃町「やすらぎの森」	2017年～	15.9ha	森林
三重県	三重セブンの森	津市美里町	2014年～2019年終了 2020年更新	1.2ha→8.8ha	森林
滋賀県	滋賀セブンの森	守山市今浜町 第2なぎさ公園	2019年～	—	湖
大阪府	大阪セブンの森	能勢郡能勢町「歌垣山」	2013年～2018年終了	3.7ha	森林
大阪府	阪南セブンの海の森	阪南市西鳥取漁港西海岸	2018年～	—	海
広島県	広島セブンの森	東広島市八本松町	2013年～2021年更新	3.6ha→15ha	森林
福岡県	福岡セブンの森	福岡市早良区曲洲	2015年～2020年終了	1.8ha	森林
佐賀県	佐賀セブンの森	三養基郡基山町	2014年～	4.7ha	竹林
宮崎県	宮崎セブンの森	日南市北郷町	2013年～2020年終了	3.0ha	森林
大分県	大分セブンの森	玖珠郡九重町	2021年～	600ha	草原

面積合計 1770.5ha



青森セブンの海の森

## 「セブンの森」

2023年2月末日現在29カ所  
※長野は2カ所（うち終了11カ所）

- セブンの森
- セブンの海の森



霧多布セブンの森



佐賀セブンの森

## 「セブンの森」づくり累計活動結果

(2006年度～2022年度)

活動回数	250回
加盟店と本部社員参加人数	14,810名
一般参加人数	7,032名
参加者数合計	21,842名





# 自然学校

「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を基本理念に、大分県玖珠郡九重町と東京都八王子市川町で自然学校を運営しています。



スタッフ集合写真

## くじゅう 九重ふるさと自然学校

九重ふるさと自然学校は、2007年に開校し、ラムサール条約に登録された「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」をはじめとする草原環境の保全や草索性チョウの保全活動、さらにお米も生きものも育む自然共生型の田んぼづくりや地域に根付く伝統野菜の普及・啓発を通して、人と自然が共生する里地里山の保護・保全活動に取り組んでいます。

また「大分セブンの森」として、2021年6月17日(木)飯田高原一帯の環境を守ろうと大分県、九重町、飯田高原野焼実行委員会、セブン-イレブン記念財団の四者が草原および森林において整備・保全に関する協定を締結しました。「セブンの森」として“草原”が対象となったのは初めてであり、草原の大切さや豊かさをたくさんの人たちに知っていただくため、地域の人たちと共に活動を進めてまいります。



大分セブンの森 外来種駆除活動



大分セブンの森 外来種駆除活動

## 体験プログラムと生物多様性

九重ふるさと自然学校ではボランティアの皆さんと共にチョウの種類と個体数を定期的に調べています。その結果、自然学校のフィールドでは草原と雑木林を中心に73種のチョウが生息、そのうち絶滅危惧種が9種



体験プログラム 草原観察会

含まれていることが分かりました。

これら希少なチョウを保全活動の象徴種として、草原の草刈りなどの環境整備を行い、生物多様性の向上を目指すとともに、自然観察プログラムや学校受入れなどの環境学習を通じて、人と自然の共生の重要性を伝えています。



体験プログラム 川の生きものしらべ



## 体験プログラムを通して環境を学ぼう！



体験プログラム 昆虫観察



体験プログラム 門松づくり

週末には、森の中を散策しながらの生きもの観察や、自然素材を使ったクラフトワークショップ、森林整備体験ができるボランティア活動を実施しています。

また「森の音楽祭」や「絵本の森を探検しよう」といった、生きもの以外でも環境教育にアプローチをする体験プログラムにも取り組み、多くの方に様々な環境体験学習を提供しています。

## 高尾の森自然学校

「高尾の森自然学校」は、東京都が初めて民間団体と拠点施設を構えて取り組む協働事業です。

2015年4月に開校し、東京都八王子市川町の約26.5haの都所有の森をフィールドに、貴重な森林を守り、育むことにより脱炭素社会の実現に寄与します。また東京都レッドリストに掲載されている貴重な動植物の保護・保全活動を通して、生物多様性の重要性を体験し学ぶとともに、地域の自然、歴史、文化などを次世代に継承していく人材を育てます。

「高尾セブンの森」は、高尾の森自然学校が開校する前の2014年8月から地元の方と共に、東京都八王子市川町の豊かな自然が残る森を保全する活動を実施してきました。また月2回実施している森林整備活動「森のお手入れボランティア」は2023年2月末までに、計134回実施し、延べ1,333名の方と共に森林整備を行い、森を整備するだけでなく、森づくりの必要性についての講習なども行っています。



スタッフ集合写真



体験プログラム  
ジュニアボランティア



高尾セブンの森 下刈り作業

